

2024年度短期海外研修プログラム（夏期） 成果報告書

2024年度短期海外研修プログラムの夏期は、下記の通り、2コースに13名の学生が参加しました。

リジャイナ大学コース（カナダ）： 2名
上海海洋大学コース（中国）： 11名

福原学園 国際交流・留学生支援室

2025年2月

【説明】

- ① 紙面が限られているため、参加者全員の報告書を掲示することが難しい場合があります。そのため、コースによっては一部の学生の報告書のみを掲載しています。
- ② 参加学生のそれぞれの見方と考えを最大限に残すことを目的として、本報告書は、学生が提出したレポートの書式を整え、大幅に間違いのある部分のみを訂正し、学生が自分の言葉で綴った内容はほぼそのままにしています。

研修先大学 (研修国)	リジャイナ大学 (カナダ)
研修期間	2024年8月6日～8月28日(22日間)
参加学生数	2名(本学園から本コースへの参加者数)

報告者 ①			
九州共立	大学	スポーツ	学部

主な研修内容 と日程	<p>授業開始が8月7日水曜日から開始し平日の授業は朝7:00-8:30がBreakfastで、8:30から授業が始まり11:30に午前中の授業が終わり、13:00までLunchの時間で、午後は15:00まで授業があります。17:00-18:30までの間Supperがあります。これが終わると基本的に自分の時間になるのですが、週3ぐらいでプログラムのスタッフたちが考えてくれたアクティビティーがあります。時間は19:00-21:00です。アクティビティーがない日には友達とバスでダウンタウンなどに移動して買い物をしたりご飯を食べに行ったりします。</p> <p>週末は大学を出して暮れるバスに乗って様々な場所に観光に行きます。例えばミュージアム、サイエンスセンター、スカイパーク、警察の歴史博物館、などに行ったりします。そこでは、CAの人たちと一緒に楽しんだり、藩士を聞いたりして、交流を深めることもします。基本的にはこのような内容で、8月24日までプログラムが行われます。8月23日には卒業パーティーみたいなものも行われます。</p>
研修先の大学 における研修 の方法とそれ への評価	<p>僕のクラスの授業は先生が黒板に3つほど質問を書いて僕たちは3グループに分かれてグループごとに自分たちの意見をそれぞれ言い合います。それが終わると、先生が生徒一人一人の意見を順番に聞いていきます。午前中はこれで終わります。たまに午後まで持ち越すこともありましたが、午後は、日によってやることは変わっていました。例えば、LとRの発音の練習や、カナダのProvinceやTerritoryを覚えたり、単語と意味の組み合わせを作るゲームをしたり、リジャイナ大学の教授の話の聞いたりなどしました。先生は僕たちが間違えたところはその都度丁寧に教えてくれて、わからない単語に関しても意味や、由来などを細かく教えてくれる先生でした。宿題はJournal とういって日記のようなものを提出期限までに出す課題が出ました。僕らの先生の授業の進め方はとても丁寧でわかりやすいですし、文化の違いや、考え方の違いをリアルタイムで感じ知ることができるので、とても楽しい授業でした。発音の矯正なども丁寧にしてくれて自分でも実感できるほど成長することができました。宿題のJournalはその日の出来事を書くので、楽しく書けましたし、先生がコメントを残してくれるので、面白い内容が書けるように1日1日を大切に過ごせたので、英語力もついてプログラムを楽しむこともできて一石二鳥でした。</p>
滞在方法及び それへの評価	<p>寮では夜中の1:00まではうるさくない程度に活動していいという決まりでした。一階にはキッチンがあるのでそこで料理をすることもできます。もちろんしっかりと片付けをすること。ゲーム(PS4、Switch、Xbox)をフロントの人に言えば借りることができました。</p> <p>洗濯物に関しては、常備されている洗濯機と乾燥機を指定のアプリを入れることで1回\$1.75で使えます。</p> <p>実際過ごしてみて、ちょっと食堂まで遠いな最初は感じましたが、慣れれば問題ないですし、快適に過ごせました。また、寮だけでなく大学の至る所に給水機があるのはとても助かりました。部屋も1人で過ごすには十分な広さで快適でした。強いというならシャワーヘッドが動かせると良かったです。</p>

<p>文化・教育・生活などの違いについて感じたこと</p>	<p>これが文化の違いが分かりませんが、何に対してもなんでと聞いてくるが多かったです。特に授業では最初の方は毎回なんでと聞かれるのがちょっときつかったですが、数日すれば慣れてきて話す時はなぜをイメージしながら話すことができるようになりました。</p> <p>大学内では気軽に話しかけてくる人がとても多かったです。僕が道に迷っていたら声をかけてくれて行き方を教えてくれたりと日本人とは違った親切さがありました。あとは道を歩いてたり、バスの中などで目があったりすると会話が始まったりしました。僕自身はこの文化はとても好きです。なぜなら日本だと目があたらお互い逸らして気まずい雰囲気になりますが、この文化だと軽い会話ができ気持ちが悪くなり気分も良くなりました。なのでこの文化は結構好きです。</p> <p>教育に関しては他人の意見に対してのレスポンスがとてもみられました。明らかな外れな意見は流石に違っていると指摘をしていましたが、ちょっと変わった意見が出た時に流さずに言いたいことを汲み取ってくれようとしていて、とてもいい文化だなと感じました。</p>																																
<p>研修成果（研修を通して得たこと）</p>	<p>① 研修参加の動機： 元々大学に入ったら留学に行きたいと考えていて、どこかのチラシで留学をする人の4年間のスケジュールで一年生の夏に語学研修に行くと良いと書いてあり行くことを決めました。</p> <p>②研修成果：研修参加を通して何が変わったかを具体的に教えてください。例えば、語学力、価値観、将来の目標、日本や家族に対する思いの変化、自分への再認識、等々。 行く前より確実にリスニングとスピーキング能力は上がりました。もちろん流暢に話せるわけではないが、英語で会話することに対してすんなりと入れるようになりました。とても嬉しいことです。 また、他人に対する考え方が変わりました。考え方が変わったというよりどんな人に対しても余裕を持って接することができるようになりました。とても視野が広がりますし、今まで海外には何度か行ったことがありますが、やっぱり僕海外の方がすごいし安いと感じました。</p> <p>③自己啓発：研修参加を通して得た経験や知識を今後どのように活かしていくか具体的に述べてください。 将来はスポーツに関わることで海外に行きたいと考えているので、この経験とあと3年時に行こうと考えている1年間留学の経験を大切にしていきたいと思います。今から英語の学習には力を入れていき、外国人に触れる機会を増やして行けたらいいなと考えています。</p>																																
<p>渡航後、現地での生活費等について</p>	<p>①現地の物価は日本と比べると（枠内に該当する数字を記入）： 5：かなり高い 4：高い 3：同じくらい 2：安い 1：かなり安い</p> <table border="1" data-bbox="496 1473 1257 1552"> <tr> <td>食料品</td><td>4</td><td>外食費</td><td>4</td><td>消耗品</td><td>4</td><td>洋服類</td><td>4</td> </tr> <tr> <td>交通費</td><td>4</td><td>遊興費</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> <p>②現地で使った生活費等は合計で約 6 万円：</p> <table border="1" data-bbox="496 1615 1257 1731"> <tr> <td>食費(外食を含む)</td><td>0.5万</td><td>消耗品</td><td>0.5万</td> </tr> <tr> <td>交通費</td><td>0.3万</td><td>洋服類</td><td>2.5万</td> </tr> <tr> <td>遊興費</td><td>2万</td><td>お土産</td><td>0.2万</td> </tr> </table> <p>③上記②の費用について（該当内容に○をつけてください）</p> <table border="1" data-bbox="496 1794 1313 1944"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>反省すべき部分があった。 具体的には：ちょっと服は買いすぎたかなと思います</td> </tr> </table> <p>④後輩へのアドバイス： 服は程々に</p>	食料品	4	外食費	4	消耗品	4	洋服類	4	交通費	4	遊興費	4					食費(外食を含む)	0.5万	消耗品	0.5万	交通費	0.3万	洋服類	2.5万	遊興費	2万	お土産	0.2万	<input type="checkbox"/>	無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：	<input checked="" type="checkbox"/>	反省すべき部分があった。 具体的には：ちょっと服は買いすぎたかなと思います
食料品	4	外食費	4	消耗品	4	洋服類	4																										
交通費	4	遊興費	4																														
食費(外食を含む)	0.5万	消耗品	0.5万																														
交通費	0.3万	洋服類	2.5万																														
遊興費	2万	お土産	0.2万																														
<input type="checkbox"/>	無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：																																
<input checked="" type="checkbox"/>	反省すべき部分があった。 具体的には：ちょっと服は買いすぎたかなと思います																																

報告者②			
九州共立	大学	スポーツ	学部

<p>主な研修内容 と 日程</p>	<p>クラスがレベル別に5つに分かれており、私は一番下のクラスであった。授業は午前中 8:30 分～11:30 分、昼休みが 11:30 分～13:00 分、午後が 13:00 分～15:00 分であった。クラスによって違うが、私のクラスは午前と午後で先生が変わり、2人の先生が授業を行っていた。また、午前中の先生に関しては前半の1週間と後半の2週間で先生が変わったため、計3人の先生から指導を受けることが出来た。授業内容としては、午前中は1日3人の自己紹介からスタートし、発音やアクセントの練習、1度10～20分ほどの休憩を挟み、配布された教科書のワークに取り組むというものだった。午後の授業は教科書などは使わず、グループワークやゲーム形式での授業だった。課外活動は週に3回ほど行われ、CAさん主催のゲーム大会のようなものが1回、スポーツが1回、土日のどちらかに校外への研修が1回というのが主な配分である。時間は19:00分～21:00分までであり、スポーツに関してはほぼ全員が参加し、そこに参加したほとんどの学生が時間を延長してスポーツを楽しんでいた。校外研修は博物館や少し都会の街に出かけるなど非日常を体験することができた。</p>
<p>研修先の大学に おける研修の方 法とそれへの評 価</p>	<p>授業は主に生徒に発表させる形で進んでいた。また、午前中の先生は1人を当てるという訳ではなく、前の席から順番に全員は当てていくというものが多かった。全員に発言の機会を強制的に与えることによって、英語力の向上が見込めるいいしどうであると思った。午後の先生は主にグループワークをさせ、それをプレゼン形式で全員の前で発表させるという授業形式だった。またそのグループ内でも日本語を話していると先生に目をつけられ飛んでくるため、全員頑張って英語を話すようにしていた。また、午前も午後も先生はアクティブな先生であったため、午前中の先生はウクレレを持参して、カナダの歌を全員で合唱することが多々あった。午後の先生は全員を席から立たせて2人1組でダンスを踊らせたりして、かなり体力を使う授業であった。午後の先生は現地の学生が在学している自分の他のクラスを同じ大学内に持っており、現地の生徒とコミュニケーションと取らせてくれる機会を作ってくれたり、大学内を理解するため、校内ウォークラリーなどを開催して、積極的に他人と関わるような授業を展開していた。宿題は週に1か2度 journal という日記が出る程度で、枚数も配布されたルーズリーフ裏表1枚に書けばよいだけである。お題はその都度先生から出され、最後の授業までに合計5枚提出すればよい。宿題では無いが授業でプレゼンがあるので準備を自主的に進めなければならない。</p>
<p>滞在方法及びそ れへの評価</p>	<p>寮はほとんどの人は部屋の大きさは同じだが、たまに広い部屋が与えられている人がいる。そこは運次第らしい。寮は夜1:00分までには静かにしないといけないらしいが、日付を超えるとだいたいクレームをつけてくる人がいる。主に隣の部屋の住人。また、寮には留学生や在学生以外にもレジャイナ大学に試合をしに来たラクロス部や中学生ぐらいの人、パッと見旅行かと思うような人まで幅広く宿泊している。日本人や留学生はある程度固まったフロアに集められている。寮の1階には小さいながらもキッチンがある。しかし調理器具は無いので、普通の人は何も出来ない。湯沸かし器があるので、それくらいしか使えない。洗濯機と乾燥機はそれぞれ1.75ドルで使用できるが、2ドルに値上がりするそう。タオルはバスタオルが2枚ある。フェイスタオルはない。週に1度シーツとタオルを交換してもらえる。シャワーや水道の水は美味しくないで口に入れない方がいい。外で酒を飲んではいけないというルールがあった。しかし正直注意する人などいない。初めは不便と思うことも少しはあったが、工夫次第でなんでも出来たため、なんの問題も無い。</p>

文化・教育・生活などの違いについて感じたこと	<p>文化的違いはコミュニケーション能力の高さだと思う。海外の人は全員積極的に話しかけてくる。スーパーでぶらぶらしている時も、信号待ちをしている時も、よく話しかけられた。また、ランニングをしている時や運動をしている時など、同じことをしている人達から軽い挨拶をされることが多い。気持ちよくい文化だと思う。</p> <p>教育的な違いでは、全員に発表させることが多いと感じた。全員に発表させると時間がかかるので、授業の進行が遅くなるのは承知の上で平等に発表の機会を与えていた。時間はさほど気にしている様子はなく、むしろペース配分はめちゃくちゃに感じることにすらあったが、それも海外でしか味わえない骨組みの無い授業だと思った。</p> <p>生活で違いを感じたのは、まず、料理だ。寮のご飯だけなのかもしれないが、とにかく茶色い。メイン料理しかない。それをとんでもない量ワンプレートに縦積みされる。正直後半は味など分からない。不味くはないが、2日連続で食べるのはきつい。もう1つはトイレだ。ウォシュレットなんか当たり前のようにない。また、膝ぐらいまで下が前と左右に空間がある。高さも2メートルはないであろうボックスなので中がほぼ丸見えである。扉も少し隙間があるので見ようと思えば見れるようなトイレの作りである。</p>																																
研修成果(研修を通して得たこと)	<p>① 研修参加の動機： 1年次から留学は考えていて、部活動や金銭面から中々踏み出すことができなかったが、部活を引退し、ある程度留学先で不自由なく生活できるお金が貯まったので留学しようと決意した。カナダに決めた理由は英語圏に行きたかったから。</p> <p>② 研修成果：研修参加を通して何が変わったかを具体的に教えてください。例えば、語学力、価値観、将来の目標、日本や家族に対する思いの変化、自分への再認識、等々。 正直英語能力0で留学に行ったので、そんなにすぐには成長を感じられなかった。かなり現実的なことを言うと3週間ではあまり何も変わらなかったような気がする。多少は聞き取れるようになったが、自分の思っていることは3割も伝えきれていないと思う。言語では伝えられないが、どうしても伝えなければいけない場面が何度もある。そこでのジェスチャーや気合いで伝達する能力は上がったと思う。価値観としては、世界は思ったよりも自分に優しいことが分かった。自分の周りの人間が自分の全てだと思い込んで小さな世界に閉じこもっていたので、外の世界を見れてよかった。世界はあんな人間ばかりじゃないことを知ることが出来てよかった。知らない世界に飛び込むと嫌でも何かに目を向けないと生活が出来なかったのも、自分で全てを見て自分で判断するしかない、誰にも頼れない世界に1度行くことが出来て良かったと思う。</p> <p>③ 自己啓発：研修参加を通して得た経験や知識を今後どのように活かしていくか具体的に述べてください。 正直この留学で得たものはほんの少しだけ上がったリスニング力と自立力と何人かの友達である。内定も貰い将来がある程度決まっている上で、どのように活かしていくかということ考えると少し難しいが、何かしんどいことが苦しいことがあったとき、この留学での出来事や友達を思い出すと少しだけ心が軽くなるような気がする。</p>																																
渡航後、現地での生活費等について	<p>① 現地の物価は日本と比べると（枠内に該当する数字を記入）： 5：かなり高い 4：高い 3：同じくらい 2：安い 1：かなり安い</p> <table border="1" data-bbox="550 1805 1311 1886"> <tr> <td>食料品</td> <td>5</td> <td>外食費</td> <td>4</td> <td>消耗品</td> <td>3</td> <td>洋服類</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>2</td> <td>遊興費</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>② 現地で使った生活費等は合計で約 40 万円：</p> <table border="1" data-bbox="550 1944 1311 2096"> <tr> <td>食費(外食を含む)</td> <td>15万</td> <td>消耗品</td> <td>0.5万</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>1万</td> <td>洋服類</td> <td>6万</td> </tr> <tr> <td>遊興費</td> <td>10万</td> <td>お土産</td> <td>8万</td> </tr> <tr> <td></td> <td>万</td> <td></td> <td>万</td> </tr> </table>	食料品	5	外食費	4	消耗品	3	洋服類	3	交通費	2	遊興費	3					食費(外食を含む)	15万	消耗品	0.5万	交通費	1万	洋服類	6万	遊興費	10万	お土産	8万		万		万
食料品	5	外食費	4	消耗品	3	洋服類	3																										
交通費	2	遊興費	3																														
食費(外食を含む)	15万	消耗品	0.5万																														
交通費	1万	洋服類	6万																														
遊興費	10万	お土産	8万																														
	万		万																														

	<p>③上記②の費用について（該当内容に○をつけてください）</p> <table border="1" data-bbox="552 192 1370 344"> <tr> <td data-bbox="552 192 611 266"></td> <td data-bbox="611 192 1370 266"> 無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には： </td> </tr> <tr> <td data-bbox="552 266 611 344">○</td> <td data-bbox="611 266 1370 344"> 反省すべき部分があった。 具体的には：毎日飲み会 酒が日本の3倍の値段 </td> </tr> </table> <p>④後輩へのアドバイス： カジノは行かない方がいい。</p>		無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：	○	反省すべき部分があった。 具体的には：毎日飲み会 酒が日本の3倍の値段
	無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：				
○	反省すべき部分があった。 具体的には：毎日飲み会 酒が日本の3倍の値段				

研修先大学（研修国）	上海海洋大学（中国）
研修期間	2024年9月1日～9月9日（9日間）
参加学生数	11名（本学園から本コースへの参加者数）

報告者 ①			
九州共立	大学	経済	学部

主な研修内容 と日程	<ul style="list-style-type: none"> ・9月1日 福岡空港に集合し、上海（浦東）行きの飛行機に乗った。現地時間20時頃に上海海洋大学の学生寮に到着し、そこで初めて上海海洋大学の学生ボランティアの方たちと挨拶をして担当の学生と話した。初日は時間もあまりなく学生同士の交流は少なかった。 ・9月2日 大学内で開幕式が行われ、全学生ボランティア、そして上海海洋大学の先生方と交流をした。その後、昼食をとり午後からは中国語講座を受講し、そのまま文化体験である「切り紙」を体験させてもらった。午後は歓迎の意を込めて数名の学生ボランティアと先生方、日本人留学生と共に会食が開かれた。 ・9月3日 この日は校外活動があり、あいにくの天気であったが上海の都心部（豫園や東方明珠）を訪れた。 ・9月4日 午前9時から昼休みまで中国語講座があり、昼食を取ったのち二回目の文化体験である「二胡」（中国の伝統的な楽器）の演奏を聴いたり、実際に弾かせてもらったりした。 ・9月5日 校外活動で上海ディズニーランドを訪れた。 ・9月6日 午前中は中国語講座を受講し、午後からは上海海洋大学の学生ボランティアと先生方と餃子作りを楽しんだ。 ・9月7日 午前中は中国語講座を受講し、午後からは中国の伝統武芸である「太極拳」を学生ボランティアに教わった。 ・9月8日 この日は自由活動の日であり、修了式を終えた後、学生ボランティアの方たちと校外に昼食を食べに行った。そして、夜は夕食を学校でとったあと学生ボランティアの数名と寮で談話をしたり、トランプゲームをしたりしていた。 ・9月9日 浦東空港から福岡空港に到着し、帰宅した。
研修先の大学 における研修 の方法とそれ への評価	<p>中国語講座では中国語の基礎である、母音や子音、二重母音の学修から始めていった。特に、声調は日本人にとっては難しいものであり、上海海洋大学の学生講師である方が丁寧に教えてくださった。一番困難であったものは二重母音の発音であり、完璧に習得することはできなかった。授業の進め方としては、初日は母音や子音を全員で学修しみんなで発音をしていくスタイルであった。二回目からは数字の学修や自己紹介、日常で頻繁に用いる表現などを学修し、ペアになって練習したり、グループで飲食店での注文の実践演習をしたりした。また、修了式にみんなで合唱する「茉莉花」の練習も何度もした。</p> <p>教職員の指導方法としては、先生が中国語を話した後に英語での説明がある授業スタイルであったが、日本での英語のニュアンスと中国語の英語のニュアンスや発音の違いにより理解が難しい場面が多々あった。しかし、上海海洋大学の学生ボランティアの通訳があったため、何とか日本留学生も理解ができていた様子だった。</p> <p>宿題はほとんどなく、修了式で歌う「茉莉花」の歌詞と音声を少し聞いておくというものであった。</p> <p>今回現地で初めて中国語の講座を受講したが、一番つまづいたことはやはり先生、生徒ともにお互いの言語しか話せないということであったと思う。中国語を日本語に翻訳できる人が一人でもいれば先生、生徒ともによりスムーズ授業を進められたのではないかと思った。</p>
滞在方法及び それへの評価	<p>滞在方法は上海海洋大学の留学生女子寮に滞在した。部屋は二人で一つの部屋であり、設備はエアコン、ベッドが二つ、テレビ、トイレ、お風呂、洗面所があった。し</p>

	<p>かし、テレビの設備はあるがつけることはできなかった。また、お風呂はシャワーの出し方が分からず、一日目は蛇口の方からお湯を出していた。レンジや冷蔵庫、キッチンは一階にあり、寮に滞在している学生の方たちと共同で使用するものであった。そして、洗濯機も一階に設置されており、共同で使用するものであった。しかし、洗濯機はインターネットを通して予約し、洗濯しなければならず、おそらく現地の電話番号をもっている人にしか使用できないため、私たち日本人が洗濯機を使用することはできなかった。</p> <p>寮の門限は23時であり、それ以降は出入りができなくなる、また男子学生が入ってくることもないため、安全面ではとても安心できた。</p>
<p>文化・教育・生活などの違いについて感じたこと</p>	<p>文化面では、中国の国土が広いこともあり、街そして校内でも有料の自転車が様々な場所に設置してあった。私自身も利用してみたが非常に便利であり、利用料も安価であるため日本の各地域にも取り入れてほしいと思った。</p> <p>また、食文化においては日本とは全く異なるということを実感した。一つのテーブルにいくつもの料理が並び、その量もとても多く食べられる量ではなかった。日本では提供された食べ物を残すということは失礼にあたることであるので、こんなに料理がきて大丈夫なのかと思っていたが中国ではお皿を空にすることは「おなかが満たされていない」ということを意味し、逆に失礼に当たるということを教えてもらった。なので、中国料理は初めから大量の料理が運ばれ、そして残すことは失礼に当たることではないので気にしなくてよいということを学生ボランティアの教えてもらい驚いた中国文化の一つであった。</p> <p>生活面では、上海海洋大学の外に出た際に市民の生活の様子を見たが、興味深かったのは、街の中で夕方ごろから20時30ぐらいまで様々な年代の人（主に中年女性）が踊っていたことだ。いくつものグループが様々な音楽を流しながら踊っており、日本では絶対に見られない風景だと感じた。</p>
<p>研修成果（研修を通して得たこと）</p>	<p>① 研修参加の動機： もともと中国という地域や歴史に興味があり、ドラマや本を多く見ていたが実際に自分の目で様々なものを見てみたいと思いこの研修に参加しようと考えた。</p> <p>② 研修成果：研修参加を通して何が変わったかを具体的に教えてください。例えば、語学力、価値観、将来の目標、日本や家族に対する思いの変化、自分への再認識、等々。 この研修を通して自分自身が感じたこととしては、日本語が通じない、そして中国語もできないという中でどこまで自分の意見を伝える言語で伝えることができるかということであった。そこで主に用いた言語は「英語」であり、日本にいるときはほとんど使わないので分からなかったが、いざ使わなければならない状況になると自分が意外と英語を話せるということを知れた。</p> <p>また、中国の人々や建物に関して、私は研修前には「杜撰である、雑である」といったイメージであったが実際に訪れてみると人は暖かく、建物はきれいなものばかりが立ち並んでいて、私のイメージは覆された。</p> <p>そして将来の目標としては、中国で働いていくことを考えるまでに至った。もともと日本で教員になるか中国で働くかの二択であったが、この研修を通して中国に留学し、そのまま現地で働いてみたいと思う気持ちが強くなった。</p> <p>③ 自己啓発：研修参加を通して得た経験や知識を今後どのように活かしていくか具体的に述べてください。 今回の研修では様々なことを学び、そして体験することができた。中国で体験した文化や物事に対する考え方の違い、今回の研修ではそれらは主に食や公共施設を訪れたときに感じることはできた。食文化では残すことが良しとされていることなど、公共交通機関を利用した時には和気あいあいとした話し声が聞こえてきたこと、日本では通常あまりよくないとされている物事を日常の風景としてみることで、新鮮な気持ちになった。それと同時に私はこのような地域で暮らす方が開放的で人とのつながりが深まるため自分に合っているのではないかと感じることはできた。</p> <p>これらの経験から、今後様々な地域を訪れその国の文化や考え方をより多く吸収していき、自分の知識そして経験を豊富なものにしていきたいと考えた。</p>

<p>次年度以降さらに充実した研修にするための提案</p>	<p>中国では電子決済が進んでいることを身をもって経験した。そのため、現金決済ができなくなっている場所も非常に珍しいものではないと実感した。今回の研修生の中には現金しか持たない人も半数近くおり、それは不便なことであると私自身思った。故に、研修に行く前に日本で中国で主流である電子決済アプリを取得しておくことはかなり重要度が高いものであると思い、説明会の時にそういったアプリの説明を付け加えるのも良いと思った。</p>																																				
<p>渡航後、現地での生活費等について</p>	<p>①現地の物価は日本と比べると（枠内に該当する数字を記入）： 5：かなり高い 4：高い 3：同じくらい 2：安い 1：かなり安い</p> <table border="1" data-bbox="496 427 1257 510"> <tr> <td>食料品</td><td>2</td><td>外食費</td><td>2</td><td>消耗品</td><td>2</td><td>洋服類</td><td>2</td></tr> <tr> <td>交通費</td><td>2</td><td>遊興費</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>② 現地で使った生活費等は合計で約 5 万円：</p> <table border="1" data-bbox="496 568 1257 725"> <tr> <td>食費（外食を含む）</td><td>0.5 万</td><td>消耗品</td><td>0 万</td></tr> <tr> <td>交通費</td><td>0.1 万</td><td>洋服類</td><td>0 万</td></tr> <tr> <td>遊興費</td><td>2 万</td><td>お土産</td><td>2.5 万</td></tr> <tr> <td></td><td>万</td><td></td><td>万</td></tr> </table> <p>③上記②の費用について（該当内容に○をつけてください）</p> <table border="1" data-bbox="496 786 1313 1014"> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には： 家族や日本にいる人たちへのお土産にほとんどのお金を使ったので無駄遣いはなかったと思う。</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>反省すべき部分があった。 具体的には：</td> </tr> </table> <p>③ 後輩へのアドバイス： 街の衛生状況は日本に勝るところはないと思います。しかし、歴史的建造物や近未来的建物は上海は世界トップレベルのものを有しています。日本では見られない素晴らしい景色を見ることができそれはとても感動します。ただし、トイレトペーパーだけは忘れなく。</p>	食料品	2	外食費	2	消耗品	2	洋服類	2	交通費	2	遊興費	3					食費（外食を含む）	0.5 万	消耗品	0 万	交通費	0.1 万	洋服類	0 万	遊興費	2 万	お土産	2.5 万		万		万	<input type="radio"/>	無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には： 家族や日本にいる人たちへのお土産にほとんどのお金を使ったので無駄遣いはなかったと思う。	<input type="radio"/>	反省すべき部分があった。 具体的には：
食料品	2	外食費	2	消耗品	2	洋服類	2																														
交通費	2	遊興費	3																																		
食費（外食を含む）	0.5 万	消耗品	0 万																																		
交通費	0.1 万	洋服類	0 万																																		
遊興費	2 万	お土産	2.5 万																																		
	万		万																																		
<input type="radio"/>	無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には： 家族や日本にいる人たちへのお土産にほとんどのお金を使ったので無駄遣いはなかったと思う。																																				
<input type="radio"/>	反省すべき部分があった。 具体的には：																																				

報 告 者 ②			
九州共立	大学	経済	学部

<p>主な研修内容 と日程</p>	<p>主に中国の歴史について学ぶことができ、町中に行くと日本とは違い、建物一つ一つに感動することができた。 大学内で行った交流では一番印象的だったことは餃子づくりです。自分が想像していた餃子ではなく、水餃子であり中に入っている材料も日本とは異なったためとても良い体験ができた。また、中国の伝統的な弦楽器二胡も演奏することができた。 学外活動では中国共産党第一回全国代表大会が開かれた上海の旧市街、浦西で実際に代表大会が開かれた建物を見学することができた。この中では、主に中国の歴史を中心に学び、主に独立したときの写真を見ることができ、中国についての知識がとても増えて心の底から楽しく学ぶことができた。日本で学ぶこともできるが実際に見て回ること中国に対する考えや思想なども自分で考えることもでき、一番の驚きとしては、軍人の方など母国に対する気持ちを高める目的として利用していることも分かった。観光施設ではなく、軍事目的でも学ぶことができる施設だった。</p>
<p>研修先の大学 における研修 の方法とそれ への評価</p>	<p>授業の進め方としては中国語の基礎に対して焦点を当てており、とても良い環境である。また、学ぶ環境もとても良く各国のことについてよく知っていると感じた。 授業の進め方としては、モニターを使い中国語の文章と発音方法をアルファベット</p>

	<p>で表しており、一緒に発音してくれる時と自分たちだけで発音するときなど、長い時間かけて準備していることが伝わる。宿題内容としては特になく、閉幕式の時「茉莉花」を合唱したので各自練習などです。自分は一人部屋ということもあってひたすら練習することができ、参加者の中で唯一中国語を履修しておらず、0の状態だったためにとっても苦労したと感じた。自分の言葉を頑張って理解しようとして下さり、マンツーマンで発音を学んだりすることができた。また、積極的に日本語での会話の中で中国語を使い、物の名前など簡単な単語を見て学ぶことができ、授業以外の野外活動もとても楽しく学ぶことができた。日本語で書いているところが少なく何が書いてあるのか理解することが少し難しいと感じる部分があった。個人的には学習方針としてはとても良い環境が備わっていることが分かった。教室も日本文化に合わせて畳の教室でとても楽しく学ぶことができた。</p>
<p>滞在方法及びそれへの評価</p>	<p>寮の中で9日間生活している中で、初日に気づいたことは、女子寮でありそのため洗濯ができないことです。事前に確認しておくべきことがあったと学びを得ることができた。</p> <p>また、寮のルールとして門限が決められており、そのため寮の中も静かでありお互い協力し合い成り立っていると感じた。エレベーターも施設内にあり、清掃が行き届いておりとても環境がよく、また、トラブルなどがあった際も瞬時に対応がされとてもよかった。</p> <p>さらに、コンビニエンスストアまでも近くとても立地もよく、景色もとてもよかった。コンビニの利用方法や食堂の時間など把握しておくことが大事。部屋の内容としてはキャリーケースを開いておくことができない作りだったため、少しだけの不便さを感じた。</p>
<p>文化・教育・生活などの違いについて感じたこと</p>	<p>文化の違いについて感じたこととして、一番は建物の違いです。私の地元である長崎では中華街があり比較してみると全く違った。中国のほうがより建物の存在感が強く屋根の形など古風的印象があった。また、日本と同じく昔ながらの伝統的な建築方法を用いていた。</p> <p>教育の違いについては、生徒数が日本と比べるととても多いため日本よりも教育の質が高いことがわかる。教育方針では日本と似ておりモニターとホワイトボードを使いそして発音しグループディスカッションを行い生徒だけの学びがあった。</p> <p>生活の違いとしては、日本よりも食事時間が少し違う気がした。特に夕食時間は19時くらいに行おうとしても学校内の食堂の営業時間が終了しているなど少し早いのかなと感じるところがあった。食べ物も日本より味付けが濃くなっており、味に慣れるまで時間がかかる料理もあった。生活としては洋式トイレが無く、トイレトペーパーなど普段持ち歩かないものを持って歩いていた。</p>
<p>研修成果（研修を通して得たこと）</p>	<p>①研修参加の動機： 研修参加の動機は日本以外の文化や歴史の違いを実際に学びたいと感じたから。また、人生で一度は外国に行くことが夢であったため、一人でも良いので行きたいと考えていた。男性が一人だけの参加だったけれど、自分には関係がなく学びを得るために行動していたので周りの目は関係なかった。</p> <p>②研修成果：研修参加を通して何が変わったかを具体的に教えてください。例えば、語学力、価値観、将来の目標、日本や家族に対する思いの変化、自分への再認識、等々。 研修成果は語学力が特に鍛えられたと感じる。コミュニケーション能力がとても必要だと感じた。イントネーションの違いで意味が変わってくるので、伝え方を工夫しなければならなかった。価値観の違いは特に感じられなかった。しかし、街に行くと個性的な人たちがいたので人間観察にもなった。将来の目標は、日本以外の国と交わって働くこともよいと感じた。もっといろいろな人と交わって交流していきたいと感じた。自分の意識としては昔から日本と中国は対立の関係があると思っていたが、全くそんなことがなかった。とてもフレンドリーで話しやすい環境だった。日本人に対しての差別などあるのかと考えていたがそんなことは感じられなかった。むしろ留学先の人たちは歓迎してくれていることがとても伝わってうれしかった。</p> <p>③自己啓発：研修参加を通して得た経験や知識を今後どのように活かしていくか具体的に述べてください。</p>

	今後からも人種による考えを捨て、誰にでも平等に接することがとても重要であることが分かった。																																				
次年度以降さらに充実した研修にするための提案	日本でガイダンスを開くときに自己紹介をもっと早く行い、繋がりを日本で作ることが一番重要だと感じた。自分は最終日に近づくと仲良くなることができた。関係を持つことがどれほど大事なことなのか考えさせられることになった。また、中国に実際に行った学生からの話を聞いてもよいと思った																																				
渡航後、現地での生活費等について	<p>①現地の物価は日本と比べると（枠内に該当する数字を記入）：</p> <p>5：かなり高い 4：高い 3：同じくらい 2：安い 1：かなり安い</p> <table border="1"> <tr> <td>食料品</td> <td>1</td> <td>外食費</td> <td>3</td> <td>消耗品</td> <td></td> <td>洋服類</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>1</td> <td>遊興費</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>②現地で使った生活費等は合計で約 2.15 万円：</p> <table border="1"> <tr> <td>食費（外食を含む）</td> <td>1 万</td> <td>消耗品</td> <td>0 万</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>0.15 万</td> <td>洋服類</td> <td>0 万</td> </tr> <tr> <td>遊興費</td> <td>0 万</td> <td>お土産</td> <td>1 万</td> </tr> <tr> <td></td> <td>万</td> <td></td> <td>万</td> </tr> </table> <p>③上記②の費用について（該当内容に○をつけてください）</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：物価がとても安く生活費には困らなかった</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反省すべき部分があった。 具体的には：</td> </tr> </table> <p>④後輩へのアドバイス： 大学が同じ交流先ならば全員と仲良くなるべき。（日本で）</p>	食料品	1	外食費	3	消耗品		洋服類	3	交通費	1	遊興費	2					食費（外食を含む）	1 万	消耗品	0 万	交通費	0.15 万	洋服類	0 万	遊興費	0 万	お土産	1 万		万		万	<input type="radio"/>	無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：物価がとても安く生活費には困らなかった	<input type="checkbox"/>	反省すべき部分があった。 具体的には：
食料品	1	外食費	3	消耗品		洋服類	3																														
交通費	1	遊興費	2																																		
食費（外食を含む）	1 万	消耗品	0 万																																		
交通費	0.15 万	洋服類	0 万																																		
遊興費	0 万	お土産	1 万																																		
	万		万																																		
<input type="radio"/>	無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：物価がとても安く生活費には困らなかった																																				
<input type="checkbox"/>	反省すべき部分があった。 具体的には：																																				

報 告 者 ③			
九州女子	大学	人間科	学部

主な研修内容 と日程	<p>1 日目到着：空港に上海海洋大学日本語学部のボランティアの方が迎えに来てくれてバスに乗って大学まで行った。入寮：二人に一人の担当のボランティアの方が決められていてその子と連絡先を交換した。</p> <p>2 日目開講式：学校と先生方の紹介の後担当のボランティアの子と一緒に中国語で自己紹介をして交流した。昼休み：食堂で一緒にご飯を食べてから学校の中をまわって施設を紹介してくれた。授業：学生の方が先生をしてくださって母音の発音練習から始まった。中国文化体験：切紙を作った。中国学生がサポートしてくださって上手に作ることができた。歓迎食事会：日本人学生と中国人学生を混ぜて約20人で2つの円卓を囲んで交流した。中国ならではのテーブルマナーがあった。</p> <p>3 日目課外活動：豫園の伝統的な庭を見た後豫園の周りを散策して小籠包を食べた。夜ご飯には火鍋を食べてバンドの景色を見た。</p> <p>4 日目授業：四声とピンインの発音を習った。中国文化体験：はじめに二胡の構造について学んだ。それから、一人ずつ二胡を触って弾いてみた。</p> <p>5 日目課外活動：バスで上海ディズニーランドまで行った。中国人学生の子と一緒に回った。</p> <p>6 日目授業：中国語で名刺を作って名刺交換をした。リスニングテストをした。中国文化体験：はじめに先生から餃子の起源と中身に何を入れるか教わった。それから皮からの手作り餃子をみんなで作って食べた。</p> <p>7 日目授業：レストランでの頼み方を学んだ。そのあとに自分たちでメニュー表を作った。中国文化体験：太極扇を体験した。はじめに中国学生が見せてくれた。そのあ</p>
---------------	--

	<p>とに、卓球とバドミントンをした。</p> <p>8日目閉講式:一人ひとり中国語で感想を言ってみんなで歌を歌った。手紙やプレゼントを交換して感謝を伝えた。自由活動:上海市内に行って買い物をした。夜ご飯は先生と食べた。</p> <p>9日日出発:中国人学生の子たちがお見送りに来てくれた。バスの中でも中国人学生と一緒にゲームをしたり、話したりして楽しんだ。空港でも買い物した。</p>
研修先の大学における研修の方法とそれへの評価	<p>中国語授業の先生は中国語か英語で説明するので、わからない時にボランティアの子たちが日本語で説明してくれて助かった。しかし私たちがもう少し中国語の勉強をしておいたらもっと授業が進めやすくなったのかなと思った。授業の進め方はPowerPointを使っていた。発音の練習や、どれが正しいか考える問題を解くことが主な授業内容だったので伝わらない時がそこまで多かったわけではないので苦労はしなかった。宿題はなかったが、小テストのようなものはあった。発音を聞いて母音を書くテストがとても難しかった。何度もしているうちに少しだけ聞き取れるようになった気がした。</p> <p>中国文化体験で教えてくださる劉軍先生は日本語で説明してくださってさらにPowerPointを使った授業で、とても分かりやすかった。また、二胡を弾いているときにどのようにすればよりうまく弾けるようになるか一人一人にあったアドバイスをしてくれたり面白いことを言ってくれたり場を和ませてくださって初めてでもうまく緊張することなく弾くことができた。</p> <p>中国の餃子は包み方が日本とは全然違った。でも一グループに一人教えてくださる中国人学生や先生がいてコミュニケーションをとりながら楽しく包むことができた。包むほかにも皮作りがあり生地が円になるように伸ばすことがとても難しかった。どの授業でも共通してPowerPointを映すテレビが小さくて少し見えづらいと感じた。</p>
滞在方法及びそれへの評価	<p>中国では電子決済が多い。それは大学の中でも寮でもそうで、洗濯をするときや、自転車をレンタルするときまた、食堂のタピオカを買うときは電子決済のみだった。WeChat payは中国でも登録が簡単だったが、Alipayはできなかった。自転車のレンタルはAlipayしか使えなかったので今回は使えなかった。大学内の移動にとっても時間がかかるから自転車が結構必須で日本でAlipayの登録をしておけばよかった。また、洗濯も日本人はなぜかできなくて電子決済のみはとても不便だなと感じた。寮のWi-FiがInstagramもLINEもsafariも使えなくて私はその3つをよく使うのでSIMのギガをもっと多くすればよかった。WeChatは寮のWi-Fiで問題なくつかえた。</p> <p>ごみの分別がまったくなかったのでその面では全く苦労しなかった。学校内や街の中のも所々にゴミ箱があってとてもよかった。</p>
文化・教育・生活などの違いについて感じたこと	<p>始めの歓迎食事会で先生同士が何度も乾杯したり、食事中に立ち上がって違う席に行って話をしたり日本とはテーブルマナーが全く違うなど感じた。また、中国ならではの円卓のマナーや、魚料理のとりわけ方も学んだ。食事の終盤になると、先生が二胡を演奏したり歌を歌ったり周りも盛り上げがうまくて和気あいあいとした食事だった。</p> <p>中国の大学はほとんどの大学が全寮制であり、寮が敷地内に完備されているからこれだけ大学が広いのかなと感じた。</p> <p>移動手段や食べ物がとても安い。上海市内へ行くときに地下鉄や、バスに乗って移動したが学校から2時間近くかかるところをたったの11元で行けた。またスーパーへ行くと日本ではありえない値段で売っている。これは利用者の多さや、中国の平均賃金の安さからきていると聞いた。</p> <p>中国学生ボランティアの中の一人に日本のことについて、日本から見て中国の印象はどうか、中国と台湾の関係についてどのように知っているのかなどを聞いている人がいた。その様子を見てとても勉強熱心で日本のことについて本当に詳しく知りたいのだなと思った。日本人はそんな踏み入ったことを聞くのは気が引けそうだったから驚いた。</p>

<p>研修成果（研修を通して得たこと）</p>	<p>① 研修参加の動機： 中国語を履修していて興味があったのと、ことばと異文化の授業で中国のことを学び、行ってみたいと思ったことが動機である。また、中国に留学した先輩方の百聞は一見に如かずというコメントを見て私も実際に見て学びたいと思ったからである。</p> <p>②研修成果：研修参加を通して何が変わったかを具体的に教えてください。例えば、語学力、価値観、将来の目標、日本や家族に対する思いの変化、自分への再認識、等々。 大きく変わったのは中国人に対する印象である。中国人はこんなに親切なのかと正直驚いた。ボランティアの子は日本語をとて勉強してきてくれていたし、電車の中で出会ったおばさんはとてもフレンドリーに話しかけてくれた。留学する前は反日の人が多いのかなと思っていたがそんな心配はしなくていいほどとても心温かい人ばかりだった。こんなに短い期間でここまで仲良くなれるとは思ってなかった。また、もっと中国語を勉強して行って中国人学生とコミュニケーションを取りたかったのでこれから、本気で学ぼうと思った。</p> <p>③自己啓発：研修参加を通して得た経験や知識を今後どのように活かしていくか具体的に述べてください。 この研修を通して将来言語の違う人に普段はかかわりにくいと思ってしまうが、自ら向き合う姿勢でかかわりたいと思った。 国が違えば文化や生活の様式が全く違うことは当たり前なのにたいていの日本人は郷に入っては郷に従えという言葉がある通り、そう思っている人が多いと思う。私も実際そう思っていたが、そうは思わなくなった。中国の学生は私たちの文化を受け入れてくれた。ほかの国の文化も受け入れて個性を大事にできる人になりたいと思った。</p>																																				
<p>次年度以降さらに充実した研修にするための提案</p>	<p>もう少し長い期間ほしい。</p>																																				
<p>渡航後、現地での生活費等について</p>	<p>①現地の物価は日本と比べると（枠内に該当する数字を記入）： 5：かなり高い 4：高い 3：同じくらい 2：安い 1：かなり安い</p> <table border="1" data-bbox="496 1211 1257 1290"> <tr> <td>食料品</td><td>1</td><td>外食費</td><td>3</td><td>消耗品</td><td>2</td><td>洋服類</td><td>2</td></tr> <tr> <td>交通費</td><td>1</td><td>遊興費</td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>② 現地で使った生活費等は合計で約 4 万円：</p> <table border="1" data-bbox="496 1352 1257 1507"> <tr> <td>食費（外食を含む）</td><td>1万</td><td>消耗品</td><td>0万</td></tr> <tr> <td>交通費</td><td>0.01万</td><td>洋服類</td><td>0万</td></tr> <tr> <td>遊興費</td><td>1万</td><td>お土産</td><td>2万</td></tr> <tr> <td></td><td>万</td><td></td><td>万</td></tr> </table> <p>③上記②の費用について（該当内容に○をつけてください）</p> <table border="1" data-bbox="496 1570 1315 1798"> <tr> <td>○</td><td>無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：ディズニーランドは高いのであまり買わなかった。その代わりにスーパーでお菓子のお土産を安くたくさん買えた。</td></tr> <tr> <td></td><td>反省すべき部分があった。 具体的には：</td></tr> </table> <p>③ 後輩へのアドバイス： スマホをよく見る人は8日で5ギガは足りないと思う。 キャリーケースの中身を減らすために中国で洗濯して着回しをしたほうが良い</p>	食料品	1	外食費	3	消耗品	2	洋服類	2	交通費	1	遊興費	3					食費（外食を含む）	1万	消耗品	0万	交通費	0.01万	洋服類	0万	遊興費	1万	お土産	2万		万		万	○	無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：ディズニーランドは高いのであまり買わなかった。その代わりにスーパーでお菓子のお土産を安くたくさん買えた。		反省すべき部分があった。 具体的には：
食料品	1	外食費	3	消耗品	2	洋服類	2																														
交通費	1	遊興費	3																																		
食費（外食を含む）	1万	消耗品	0万																																		
交通費	0.01万	洋服類	0万																																		
遊興費	1万	お土産	2万																																		
	万		万																																		
○	無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：ディズニーランドは高いのであまり買わなかった。その代わりにスーパーでお菓子のお土産を安くたくさん買えた。																																				
	反省すべき部分があった。 具体的には：																																				

報告者 ④			
九州女子	大学	人間科	学部

主な研修内容 と日程	<p>今回は9日間の研修を通して、主に14の活動を行った。</p> <p>1日目と9日目は1日を通して移動の時間であり、2日目から8日目を通して活動を行ったとする。2日目は、開会式と中国語の基本四声の学習(母音・子音)、中国の文化的な「切り絵」の体験、歓迎会での交流活動を行った。3日目は、校外活動で豫園と南京路、大型ショッピングセンターでの昼食、中国共産党第一次全国代表大会会場記念館見学、上海市内の夜景を楽しんだ。4日目は、中国の基本四声の復習と中国伝統楽器「二胡」の演奏、体験活動に取り組んだ。5日目は、1日を通して上海ディズニーリゾートでの校外活動に参加した。6日目は、中国語の基本四声の復習、日常会話(各自でオリジナルの名刺を作成し自己紹介をする)の学習と餃子づくりを行った。7日目は、中国語の日常会話(各グループでオリジナルのメニューを作成し注文をする)の学習と太極扇の体験を行った。8日目は、閉会式に参加し代表で中国語のスピーチを行い、自由活動では学生ボランティアと近隣のショッピングセンターで昼食とお買い物を楽しんだ。そして、1日目と9日目は現地の学生ボランティアのお迎えとお見送りがあった。研修の最初から最後まで学生ボランティアと交流をすることができた今回の研修は、私にとって非常に有意義な時間となった。</p>
研修先の大学 における研修 の方法とそれ への評価	<p>上海海洋大学の研修の中国語の授業では、主に四声や簡単な基本的日常会話について学習した。「書く」ことよりも「話す」ことを重視した授業であり、正しく発音できていないところは繰り返し練習する場面が多く見られた。ネイティブの正しい発音を学ぶことができたので非常に嬉しく、復習の時間もあったため四声の基礎をきちんと学習できた。中国語の母音と子音の発音の違いをピンインを確認しながら何度も声に出して練習したが、全ての発音を覚えることはできなかった。しかし、簡単な日常会話に関しては、オリジナルの名刺やメニューを作成し役になりきって話す練習ができて中国語への関心がさらに高まった。学生ボランティアがとなりでサポートしてくれたので沢山の中国語の言葉を楽しく知ることができた。また、閉会式にみんなで合唱する「茉莉花」の自主練習が主な宿題であり、研修の早い段階で学生ボランティアがWeChatで音声データや歌詞を送ってくれたので「茉莉花」の歌の練習に励むことができた。</p> <p>さらに中国文化の体験活動は、学生ボランティアの皆さんが私達日本人学生が理解しやすいように細かく日本語で解説をしてくれたため、非常にスムーズに内容を理解したうえで楽しく取り組むことができた。上海海洋大学の先生方とも関わることができて、中国の様々な文化を広い世代の方と共に体験することができた。今回の研修は私にとって重要な言語学習と文化体験となった。</p>
滞在方法及び それへの評価	<p>今回宿泊した寮は、門限が23時であり出入り口のセキュリティーも厳しく安全性の高い寮だと感じた。また、食堂コンビニエンスストアが近くにあり、必要最低限のものをすぐに揃えることができ、寮監の対応も優しく快適な生活を送れた。衛生面は一般的な日本の寮と変わらなかった。分からないことは寮の先輩に聞くことが暗黙のルールなようで、多くの先輩に助けていただいた。この点は、私が以前孤高時代に経験した寮生活に似ていて国が違っても同じ文化があるのだと実感した。特に洗濯機の利用については、留学生の先輩方が協力して手を貸してくれた。寮の洗濯機は、中国の電話番号と中国の銀行口座が結びついている電子決済アプリが必要だったので、自分たちで洗濯機を利用することはできなかったのである。留学生の先輩方が中国語の未熟な私に英語を使って話してくれたことが私はとても嬉しかった。また、「困ったことがあればいつでも来てね」と言ってくれて部屋番号まで教えてくれた。感謝の気持ちでいっぱいである。今回宿泊した寮には多様な文化を愛する留学生が共に住む魅力溢れる寮だ。私はまたこの寮に宿泊して多くの学生と関わりたいと思った。</p>
文化・教育・生活 などの違い について感じ たこと	<p>まず、文化に関しては歓迎会での食事の場の楽しみ方に日本との違いを感じた。中国人の方はどんどんお酒を飲み合い、席を立ち友人のもとへ行き沢山お話をしていた。愉快で面白い文化である。中国人がおおらかな性格の方が多い理由が詰まっている。また、中国人は非常に素直で喜怒哀楽がはっきりと表情や行動に出ていてとても</p>

	<p>魅力的だった。</p> <p>次に、教育に関しては学生の勉学に対する姿勢から日本との違いを感じた。日本のドキュメンタリー番組で、中国の学生が受験中に軍隊のように歩きながら朝から晩まで勉強する姿を見ていたので、本当にそのような学習をしていたのか現地の学生に聞いた。一部の学生はそうのように勉強していたようだ。また、大学で軍事訓練があることを初めて知った。学校休業中だったため上海海洋大学での学業の様子を実際に見て詳しく知ることはできなかったが、私が交流した中国の学生は、勉学への熱意があり日本のことが大好きな学生が多い印象である。日本への留学を望む学生が多く、日本の大学や文化についてたくさん話した。</p> <p>最後に、生活に関しては一般的にお手洗いにトイレットペーパーが無いことが日本のお手洗いとの違いだった。お手洗いの衛生面は日本と同じできれいなところはきれい、汚れているところは汚れているという印象だ。中国は空気や町が汚れているという限定した考えが自身に少しあったのだと気づいた。日本のニュースに映し出されたことだけを信じるのではなく、見えていない一面を知ることが必要だと感じた。</p>																				
<p>研修成果（研修を通して得たこと）</p>	<p>① 研修参加の動機： 私の研修参加の動機は、中国の同世代の学生との交流を望んだからだ。また、日本のメディアで見る中国ではなく実際に現地に行き、ありのままの中国の姿を自分自身の目で見ようと決心したからだ。</p> <p>② 研修成果： 研修参加を通して私は、主に2つの事について考えを深めることができた。 1つ目は、語学力向上についてである。今回の研修では上海海洋大学の学生ボランティアは会う回数が増えるごとに日本語が上達していた。この瞬間を目の前で見ていて、私も中国の友人と中国語で会話ができるようになりたいと強く感じた。やはり語学力向上は声に出して話すことである。日常的に中国語を使って楽しく中国語の語学力を上げていこうと思った。 2つ目は、自身の価値観についてである。この研修を通して、物事を多角的な視点から見つめる事の大切さを改めて感じた。私は普段から無意識のうちに限定した面からしか物事を見ていないことに気づいた。それは中国の人々と関わることで気づくことができた。中国人は私の知っている日本人と比べて口調が激しい。中国人は気性が荒く怒りやすいのだと幼いころから考えてきた。しかし、実際に中国へ行くと現地の人には口調は激しいが、とても親切で優しい方ばかりだった。もちろん中国にも気性が荒い人はいる。けれども、それは日本も同じではないだろうか。私は日本のメディアを通して見る中国人しか知らなかったのだ。このように物事には私には見えていない側面がたくさんある。 今後は、一度立ち止まり異なる視点から物事を見つめる姿勢を忘れず過ごしていきたい。そして、魅力的な中国と中国人についていろんな人に伝えていきたい。</p> <p>③ 自己啓発： 今後は、研修参加を通して得た経験や知識を、まずは来年度福原学園に留学する学生へのサポートに活かしていきたいと考える。今回の研修では、母国語以外を学びたい方がどんなお手伝いがあると嬉しいのかを私は知った。日本や日本語についてたくさん知ってほしい。また、将来教師になった際に中国についての体験や中国に対する思いを多くの子どもたちに伝えるために、中国や中国語について今後も学び続けたい。</p>																				
<p>次年度以降さらに充実した研修にするための提案</p>	<p>①希望者を集め WeChatPay や Alipay の登録を事前研修で行う。 ②滞在先の国の電話番号や銀行口座、アプリが無くても宿泊先の洗濯機が利用できるのか事前に調べておく。利用できない場合、どこでどのように洗濯ができるのか計画を立てておく。</p>																				
<p>渡航後、現地での生活費等について</p>	<p>①現地の物価は日本と比べると（枠内に該当する数字を記入）： 5：かなり高い 4：高い 3：同じくらい 2：安い 1：かなり安い</p> <table border="1" data-bbox="496 1921 1257 2000"> <tr> <td>食料品</td> <td>2</td> <td>外食費</td> <td>2</td> <td>消耗品</td> <td>2</td> <td>洋服類</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>3</td> <td>遊興費</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>④ 現地で使った生活費等は合計で約 3 万円： <table border="1" data-bbox="496 2063 1257 2101"> <tr> <td>食費(外食を含む)</td> <td>0.5万</td> <td>消耗品</td> <td>0.5万</td> </tr> </table> </p>	食料品	2	外食費	2	消耗品	2	洋服類	3	交通費	3	遊興費	3					食費(外食を含む)	0.5万	消耗品	0.5万
食料品	2	外食費	2	消耗品	2	洋服類	3														
交通費	3	遊興費	3																		
食費(外食を含む)	0.5万	消耗品	0.5万																		

交通費	0万	洋服類	0万
遊興費	0.5万	お土産	1.5万

③上記②の費用について（該当内容に○をつけてください）

○	無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には：外食ではなく食堂を積極的に利用し、物価の高いディズニーランドでは買い物を控えた。学生カードにチャージしてあったお金を使い切ることができた。
	反省すべき部分があった。 具体的には：

⑤ 後輩へのアドバイス：
中国の支払いは、現金払いではなく電子決済が進んでいるので、事前に日本でWeChatPay や Alipay を利用できるように準備しておく方が良い。現金支払いの際は硬貨が余るので硬貨から先に使うと財布が軽くなって良い。外貨両替は、お得なレートを確認して日本で事前に行っておくと入国後は余裕をもって過ごせる。
現地の水の影響が心配な人は、ドライシャンプーや洗顔シートの利用、現地の飲料水を買って歯磨きや洗顔することを推奨する。

報告者 ⑤			
九州女子	大学	人間科	学部

主な研修内容 と日程	<p>1日目 飛行機で上海国際空港に向かい、学生ボランティアの方と合流した。寮では、他の学生とも合流し、2人に1人の学生ボランティアの方がついてくれた。</p> <p>2日目 午前は大学の開講式、午後は中国語の授業と切り絵体験が行われた。開講式では、大学の学長や主催者からこれからの研修内容について説明があり、歓迎された。その後、学生ボランティアの方とお話をしたり、昼食を食べたり、キャンパスを一緒に回ったりした。午後の授業では、基礎的な発音から学び、難しい説明は、周りにいる学生ボランティアが日本語で通訳してくれた。その後、学生ボランティアによる文化体験が行われ、切り絵の歴史と文化、意味を学んだ。</p> <p>3日目 学生ボランティア3人と一緒に豫園とバンドの野外活動を行った。豫園は、先生の豆知識と共に歴史を学びながら建物や庭園を見回ることができた。買い物では、自分の力で注文する必要がある、言葉の壁を乗り越えるきっかけになった。その後、上海の名物である弄堂を食べ、「中国共産党偉大建党精補專展」を見学した。中華人民共和国の建国の歴史が詰まった博物館で、中国の歴史や文化を写真や動画で学ぶことができた。次に、外灘へ向かい南京路で買い物をしたり、夜景を見たりして、上海の絶景を楽しんだ。学生ボランティアの方と関わる機会が増え、仲良くなることができた。</p> <p>4日目 午前は中国語の授業、午後は二胡体験が行われた。授業では、自分の名前の読み方や発音を学ぶことができた。2ペアでの対話練習等もあり、実践的な内容が増えた。午後の二胡体験では、二胡の先生による授業が行われ、歴史や文化、楽器の特徴などを学ぶことができた。中国ならではの美しい音色や『川の流れのように』といった日本の曲を生演奏で聞くことができ、感動した。一人ずつ演奏体験もでき、中国の伝統楽器に触れる貴重な体験になった。</p> <p>5日目 学生ボランティア2人と一緒に、上海ディズニーランドの野外活動を行った。私は、日本人4人と学生ボランティア1人と一緒に回るができ、忘れられない思い</p>
-----------------------	---

	<p>出になった。学生ボランティアの2人も初めてのディズニーで、共に初めてを楽しむことができた。英語がほとんど通じないため、翻訳機を使って注文したり、会計したりと、自分一人の力で挑戦する機会ができた。</p> <p>6日目 午前は中国語の授業、午後は餃子作りを行った。授業では、語学勉強とともに、手書きの名詞作りなどを行った。また、月餅をいただき、中国の文化にも触れることができた。午後は、先生方とともに餃子作りを行った。餃子の歴史や文化を学び、日本との違いに気づくことができた。皮作りや餃子の包み方なども現地の学生と一緒に体験することができ、楽しい時間を過ごした。</p> <p>7日目 午前は最後の中国語の授業、午後は太極扇体験を行った。授業では、中国語での注文の仕方や受け答え等を学び、大学内でも使えそうな言葉を知ることができた。午後は、学生ボランティアの方の2人に太極扇を教えてもらい、一緒に踊った。最後は、特別に服を着させてもらい、日本人だけで演武することができた。</p> <p>8日目 午前は閉講式を行い、午後は学生ボランティアの方と自由時間を過ごした。閉講式では、1人ずつ中国語でスピーチを行い、修了証書を授与された。最後に民謡である茉莉花をみんなで歌い、締めとなった。その後、学生ボランティア5人と日本人3人で近くのショッピングモールで食事をしたり、買い物をしたりと中国の文化と学生との交流を楽しんだ。初めてお話した学生とも仲良くなることができ、1番楽しい時間を過ごした。</p> <p>9日目 上海海洋大学を出て、学生ボランティア4人と一緒に空港へと向かった。出国までの時間は3人の学生ボランティアと思い出を話したり、買い物をしたりと有意義な時間を過ごした。そして、涙のお別れした。</p>
<p>研修先の大学における研修の方法とそれへの評価</p>	<p>授業の進め方に関しては、基礎的な発音から学ぶことができたので、授業についていきやすかった。学生から学べる授業であったため、親しみ感があり、毎日楽しく勉強することができた。中国語と英語での講義であったが、周りの学生ボランティアの方が日本語で通訳してくださることもあり、内容も理解しやすかった。四声の発音や表現言葉など丁寧に指導していただけたので、改めて中国語の面白さを体験することができた。また、講義だけでなく、ペア練習や名詞を作りなどで中五億語を学ぶプログラムもあったため、楽しみながら参加することができた。要望として、最後の授業で料理の注文の仕方を学んだので、もう少し早めに学ぶことができたら、実際に現地の人と話す機会が増えたと思う。</p> <p>宿題については、最後の閉講式で歌う「茉莉花」の練習を出された。授業内で練習する機会もあり、寝る前や休み時間に練習できる程度であったため、取り組みやすかった。また、日本語の訳や発音の仕方等を丁寧に教えてくださったため、共に中国の文化に触れることができ、素晴らしい体験になった。</p> <p>文化体験では、教職員と学生ボランティアが主体となって行ってくれた。活動始めに、その歴史や文化についての解説を行ってくれたので、新しい知識を身に付けながら体験を行うことができた。主に学生ボランティアの方が中心になって企画・進行を行ってくれたため、同じ学生同士で楽しみながら体験できたことに満足している。特に、餃子作りでは、学生ボランティアの方は餃子を初めて作るという声が多く、教職員の方に豆知識を教えてもらいながら一緒に楽しめたことは、とても良かったと感じる。</p> <p>お忙しい中、たくさんの準備と計画を行っていただき、心から感謝申し上げます。このような体験を通して、中国の文化と現地の学生、先生方と触れ合えたことは、貴重な体験だった。素晴らしい体験をありがとうございました。</p>
<p>滞在方法及びそれへの評価</p>	<p>寮は2人でも狭くない広さだった。外部の管理が徹底されており、元々は女子寮であるため、安心して過ごすことができた。ルールとして、23時に入入り口や洗濯機場が閉められる。キッチンと冷蔵庫、洗濯機は共同使用のもので、洗濯機はWeChatPayとアリペイの支払い(3.5元)のみで、中国の電話番号をもつ者しか使用できないものだった。Wi-Fiは繋がっているが、日本のアプリ(ラインやインスタグラム、Google</p>

	<p>等)は使用できなかった。また、夏休み期間中ということもあり、部屋の清掃は入らなかった。</p> <p>この寮で生活して、始めは「床が汚い」「シャワーの調節が難しい」「洗濯機が使えない」「冷蔵庫がない」と嫌な思いばかりであったが、3日目ごろに次第に慣れてきた。良い点として、クーラーをよく効くため、毎日快適な温度で過ごすことができた。寮の管理人や住人の人はフレンドリーな方が多く、とても親切な対応だった。また、洗濯機が使えなくて困っている時には、寮で過ごしている他国の方に助けってもらった。エレベーターの中でも一緒にお話ししてくれたり、場所を教えてくれたりと、優しい方が多く、とても居心地の良い場所であった。</p> <p>このような悪い環境下の中であったからこそ、人の優しさに触れることができ、たくさんのお会いがあったと考える。この寮で過ごせたことで、私自身も人として成長することができた。</p>
<p>文化・教育・生活などの違いについて感じたこと</p>	<p>1つ目は、家族を大切にする文化である。日本にもこのような文化はあるが、現代では薄れているように感じる。中国で中秋節は、家族と一緒にテーブルを囲み、食事をして団らんすると聞いた。また、現地の学生は、会えない時、月を見て家族を思うと語っていた。他にも、餃子は春節の時に、家族のみんなで役割分担をして一緒に作ると学んだ。これらのことから、家族をとっても大切に思っているように感じた。</p> <p>2つ目は、現地の大学生はアルバイトをしないということだ。日本では、ほとんどの大学生がアルバイトを行っている。しかし、中国の大学生は、勉強と部活動に熱中することが基本だと語っていた。また、現地の学生は寮で暮らしている人がほとんどであることから、生活費等は親の仕送りで賄っていると聞いた。そのため、親への負担を考慮して生活費を考えているように感じた。特に、ディズニーランドでは、現地の学生はお土産をほとんど買わなかった。これらの様子から、上記とも重なるが、家族のことを思って生活しているように感じた。私は、当たり前のように大学に通い、暮らしているが、親が金銭の負担を背負っている。相手を思いやる気持ちを忘れてはいけないことをここでの生活で気づかされた。</p> <p>3つ目は、大学の授業では100分授業の中間で、10分休みがあることである。日本では90分授業をそのまま行うスタイルが基本であるが、中国では集中力向上のために休息(休み)の時間が入る。これは中国だけの文化ではないかもしれないが、私はこのおかげで、100分授業に集中して取り組むことができた。このような文化を体験して、日本の教育にも取り入れて良いのではないかと考えた。日本の大学は90分授業が当たり前になっているが、学生の授業態度から見ても、集中が途切れて、良い学習にはなっていないように感じる。そのため、休息の文化を日本にも取り入れていくべきだと感じた。</p> <p>4つ目に、自由なところである。コンビニやタクシー、食堂等、働いている人々は、業務と共にスマートフォンで個人的な電話をしていたり、チャットやSNSをしていたりと日本では見られないような光景が広がっていた。特に、車やバイクを運転している人は当たり前のように携帯を操作しており、驚いた。日本ではこのような行為を批判的に捉え、指摘するのだと思う。ただし、私はそのような日本の風習に、頑固であると感じる。日本は美しく、きれいで、規則正しい国である。ただし、視点を変えると厳しいルールに縛られて、そうせざるを得ない環境で暮らし、いつも人目を気にして行動しているような国であると感じた。そのため、自分の国がいつも正しいという頑固な考えによって、他国を批判的な目で見たり、別のものと強く否定したりしてしまうのだと考える。</p> <p>私もこれまで日本が一番きれいな国で正しいのだと考えてきた。ただし、中国の文化や生活の様子を見て、多様な生き方や風習があるのだと気づいた。正しいか正しくないのかを決めつけるのではなく、互いに理解し合い、受け入れる姿勢が最も大切なのだと学んだ。これからもこの視点を大切に生きていきたいと思う。</p>
<p>研修成果(研修を通して得たこと)</p>	<p>① 研修参加の動機： 現地の学生との交流を通して、中国の文化を肌で感じ、既存の知識を深めていきたいと思ったから。1年次では中国語を専攻し、日本と似たところ、違ったところなどたくさん発見があり、いつか現地で確かめたいと思っていたため。</p> <p>②研修成果：研修参加を通して何が変わったかを具体的に教えてください。例えば、</p>

	<p>語学力、価値観、将来の目標、日本や家族に対する思いの変化、自分への再認識、等々。</p> <p>研修を通して、一番変わったことは、中国への印象である。これまで、インターネットやテレビ等での情報からの中国しか見ておらず、マナーが悪い、冷たい、怖いという印象であった。だが実際に現地行ってみて、人の優しさに触れることができた。始めて注文するために話しかけた時には、分からない言葉と冷たい態度に心が折れそうになったが、何度も利用するたびに、その人なりの優しさが分かるようになった。私が「謝謝」と言うと必ず「不用謝」と小さな声で返してくれたり、困っている時に声をかけたら丁寧に教えてくれたりと、その人なりの優しさが溢れていて、中国の方は素敵なお方ばかりだと感じた。勝手な印象だけで人柄を決めつけるのではなく、関わることで気づくことがたくさんあるのだと学んだ。これからの生活でも、第一印象でその人を決めつけず、時間をかけて相手と向き合うことを大切にしたい。</p> <p>また、私は中国語がほとんど話せない状態だったため、現地の学生と友達になることなどは不可能だと思っていた。だが、この研修で現地の学生と関わりたいという気持ちが芽生え、日本語やカタコトの英語、翻訳機で勇気を出して声をかけることができた。これをきっかけに、自ら現地の学生に声をかけることができるようになり、趣味や気が合う人と出会え、他国で初めての友達を作ることができた。これまでの私であれば自分から声をかけることなどは怖くてできなかったと思う。現地の学生にこの思いを伝えてみると、その人も同じ思いだったと聞くことができ、その共感から友達になることもできた。自ら声をかけることは勇気のいることだが、その一歩を踏み出すことで、変わる未来があるのだと気づかされた。この経験が、今の自分を強くしてくれたと感じる。</p> <p>③自己啓発：研修参加を通して得た経験や知識を今後どのように活かしていくか具体的に述べてください。</p> <p>ここでの経験を人生の糧として、一生忘れない。そして、得た経験と知識を将来の教育現場で伝えていきたいと考える。</p> <p>私自身では、中国で勇気を出して声をかけることのできた自信を胸に、これから積極的に行動していこうと思う。人に合わせたり、人目を気にして過ごしたりするのではなく、自分の道は自分で決めることを大切に生きていきたい。また、家族を大切にす中国の文化から、私も家族と一緒に居られることやいつも支えてもらっていることに感謝し、自分の言葉や行動で感謝の気持ちを示していきたい。</p> <p>将来、教員になった際には、子どもたちに中国の文化や異文化を知ることに楽しさを伝えていきたい。そして、日本人が中国を攻撃した負の歴史をありのまま伝え、忘れてはいけないことと命の尊さを伝えていきたいと思う。</p> <p>これからも世界が一つになり、平和になれるように、国際理解と交流を深めていきたい。</p>
<p>次年度以降さらに充実した研修にするための提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語の授業で、早めに見える会話文（短文）を学ぶことができ、もっと楽しく過ごせるのではないかと考える。 ・学食のカードがとても使いやすく、便利だった。コンビニでも使えるので、このカードのおかげで水や食費に困らなかった。 ・洗濯機が中国の電話番号をもっている者が電子決済でできるため、洗濯ができないことを伝えるべきだと考える。また、どうしても使いたいときは管理人か周囲の学生に頼むと良い。 ・寮や学内、豫園等にはトイレトペーパーが無い場合、流せるティッシュを必ず常備しておくが良い。 ・自由時間は、現地の学生と過ごすか自分たちで街を過ごすかという2択を事前に示しておけば、人それぞれの過ごし方を尊重することができると思う。 ・この研修プログラムをもっと表に出し、多くの学生に体験してほしい。楽しいだけでなく、価値観の変わる研修だということをアピールしたい。また、短期間であるため、気軽に行くことのできる研修プログラムだった。初めての海外が不安だという学生におすすめしたい。
<p>渡航後、現地での生活費等</p>	<p>①現地の物価は日本と比べると（枠内に該当する数字を記入）： 5：かなり高い 4：高い 3：同じくらい 2：安い 1：かなり安い</p>

について		食料品	1	外食費	2	消耗品	1	洋服類	2
		交通費	1	遊興費	3				

② 現地で使った生活費等は合計で約 3万1000円 :

食費 (外食を含む)	5000円	消耗品	800円
交通費	0万	洋服類	(洗濯費) 230円
遊興費	0万	お土産	1万5000円
	万		万

③上記②の費用について (該当内容に○をつけてください)

○	<p>無駄のない使い方だったので、適切な金額だった。 具体的には: 手持ちのお金とスーツケースに保管するお金を分けて、補充していく形に制約していたため、お金を慎重に使うことができた。</p>
○	<p>反省すべき部分があった。 具体的には: ディズニーでの飲食やお土産でたくさん購入してしまったので、お札がすぐに減ってしまい怖くなった。100円(2200円)前後が当たり前だったため、いつも通りの感覚で購入すると危ないことになった。</p>

④後輩へのアドバイス :

2~3万円の現金とクレジットカード (WeChatPay・アリペイ) を持っておくと安心だと思います。WeChatPay やアリペイは、登録しておくともとても便利で、ほとんどのお店やサービスでこの2つが出てきました。

寮にも、大学内にもトイレットペーパーは無いので、寮に2ロール・リュックに流せるティッシュを5~6個携帯しておくで大丈夫だと思います!